

ソアラ, スープラ, マークII, チェイサー, クレスタ

全店

標題 8インチLSD作業要領の変更



1990年5月末以降より8インチ リミテッドスリップディファレンシャルの構成部品が変更になり、それに伴いクラッチプレート, スラストワッシャーの組み付け順序が変更になりましたのでお知らせいたします。

関連資料

資 料 名	品 番	発行年月
トヨタ ソアラ修理書 上巻	6 2 0 9 3	1986年1月
トヨタ スープラ修理書	6 2 2 8 0	1986年2月
トヨタ マークII, チェイサー, クレスタ修理書 下巻	6 2 1 1 3	1988年8月

新旧ディファレンシャルの判別方法

ディファレンシャルサイドギヤスラストワッシャーNo.1で判別する。

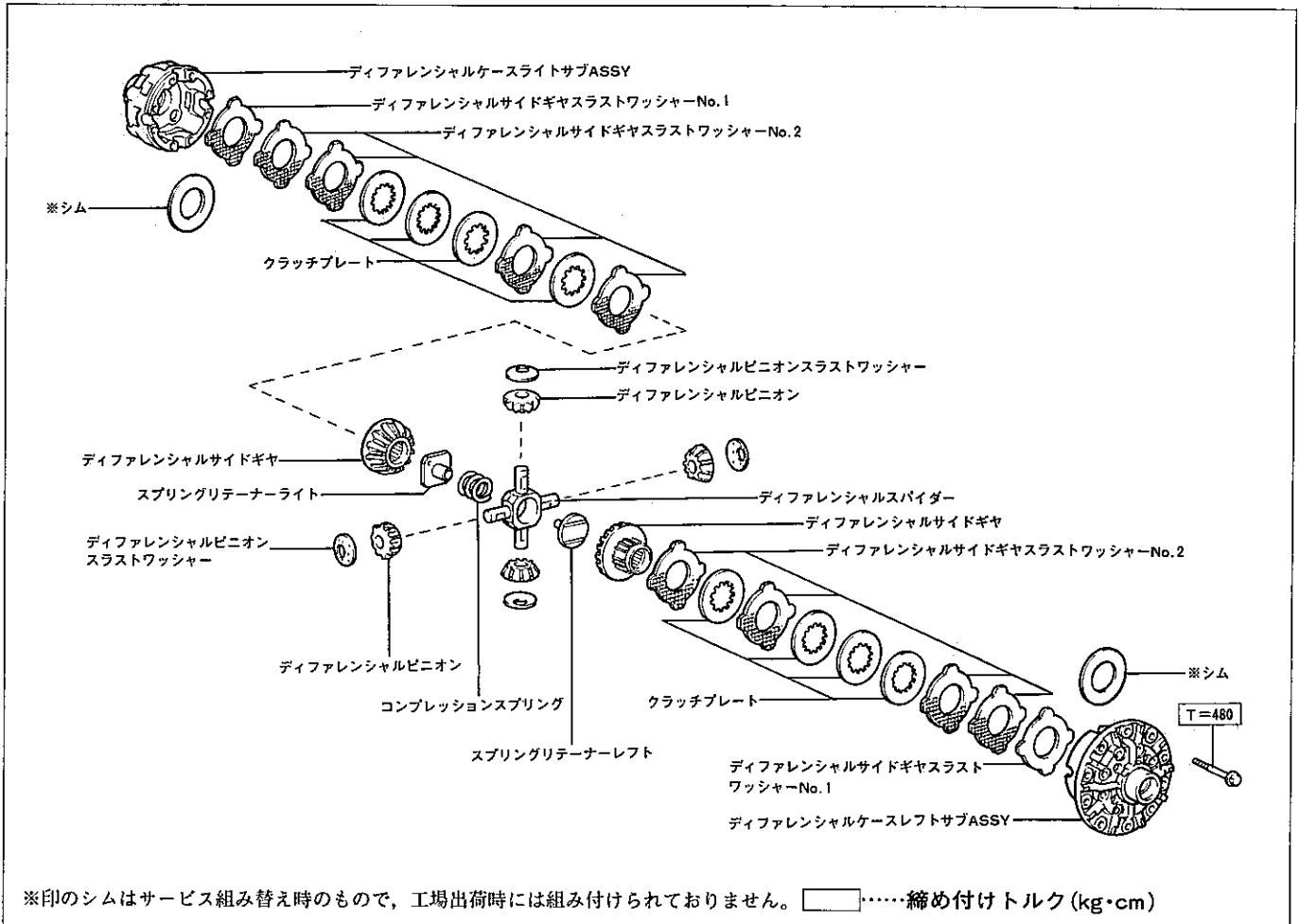
新 スラストワッシャーの片面にのみ格子溝がある。

旧 スラストワッシャーの両面に格子溝がある。

担当：サービス技術開発室

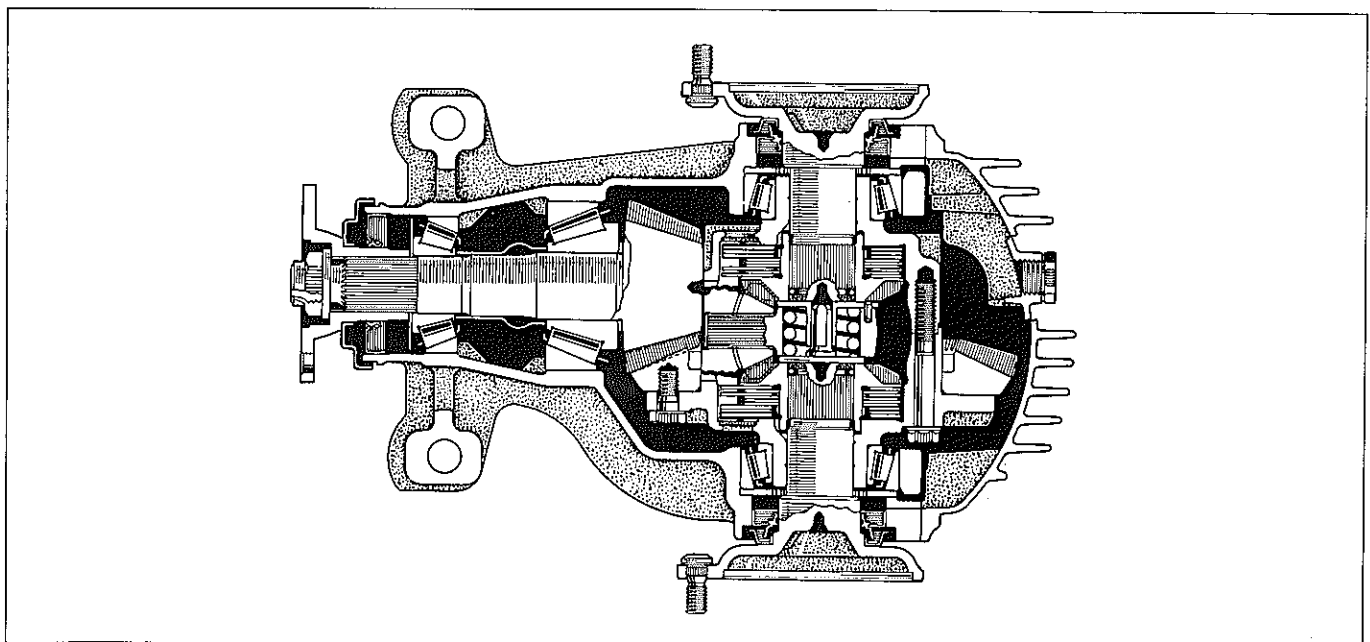
8インチ

構成図



X5619

断面図

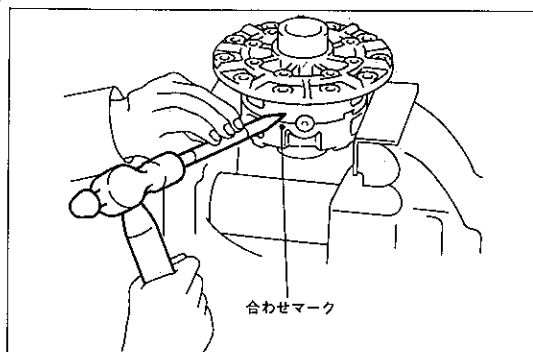


X5620

リミテッドスリップディファレンシャルケース分解

1 合わせマーク打刻

- (1) ディファレンシャルケースのライトとレフトに合わせマークを打つ。

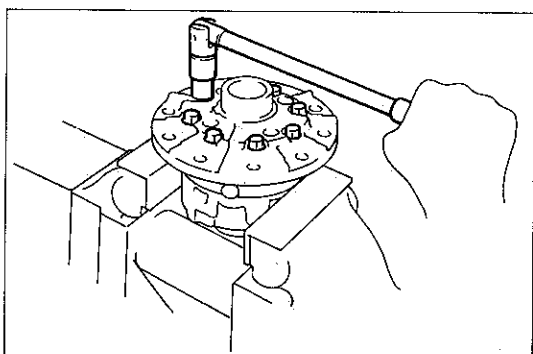


D4658

2 ディファレンシャルケースASSY分解

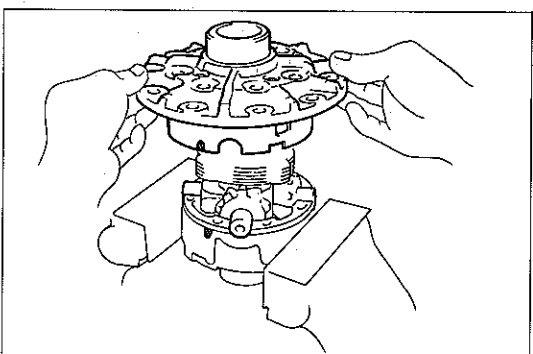
- (1) ボルト 8 本を取りはずす。

注意 ボルトは対角線に相対する順に数回に分けて取りはずす。



D4659

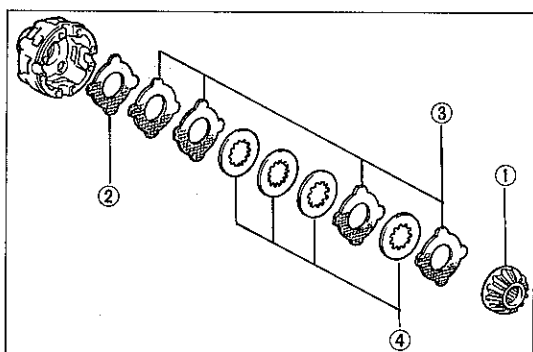
- (2) ディファレンシャルケースのレフト側を取りはずす。



D4660

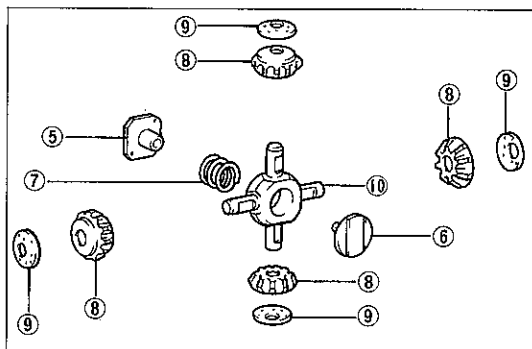
- (3) ディファレンシャルケースから次の部品を取りはずす。

- ① ディファレンシャルサイドギヤ
- ② サイドギヤスラストワッシャー No. 1
- ③ サイドギヤスラストワッシャー No. 2 (4 枚)
- ④ クラッチプレート (4 枚)

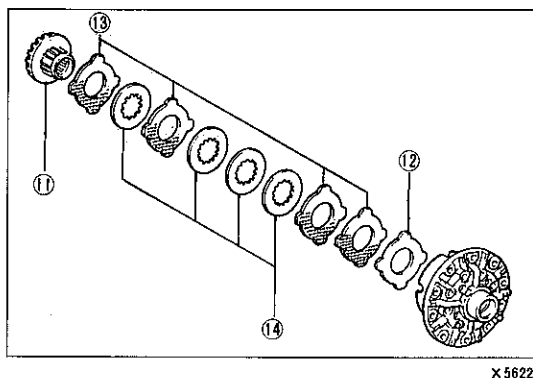


X5621

- ⑤ スプリングリテーナーライト
- ⑥ スプリングリテーナーレフト
- ⑦ コンプレッションスプリング
- ⑧ ディファレンシャルピニオン (4 個)
- ⑨ ピニオンスラストワッシャー (4 個)
- ⑩ ディファレンシャルスパイダー



D4662



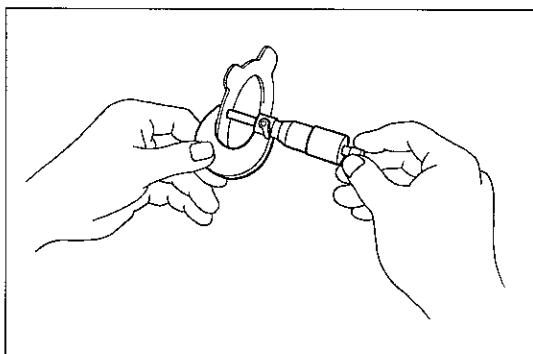
- ⑪ ディファレンシャルサイドギヤ
- ⑫ サイドギヤスラストワッシャーNo.1
- ⑬ サイドギヤスラストワッシャーNo.2 (4枚)
- ⑭ クラッチプレート (4枚)

構成部品点検

1 部品の点検と交換

- (1) 分解した各部品は洗浄し、亀裂、各かん合部の摩耗、損傷、変形および焼き付きなどの不具合がある場合は修正または交換する。

注意 サイドギヤおよびクラッチプレートを交換する場合は、それと接触するサイドギヤスラストワッシャーも新品と交換する。

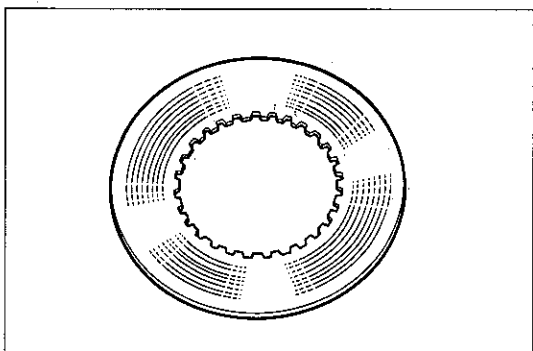


RA0191

2 ディファレンシャルサイドギヤスラストNo.2 ワッシャー点検

- (1) ワッシャーに著しい摩耗がないことを点検する。
- (2) ワッシャーの厚さを点検する。

限度 1.77mm

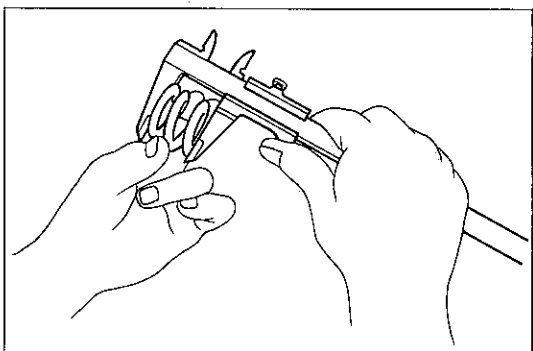


RA0214

3 クラッチプレート点検

- (1) クラッチプレートに著しい摩耗がないことを点検する。

参考値 板厚 1.57~1.63mm



RA0192

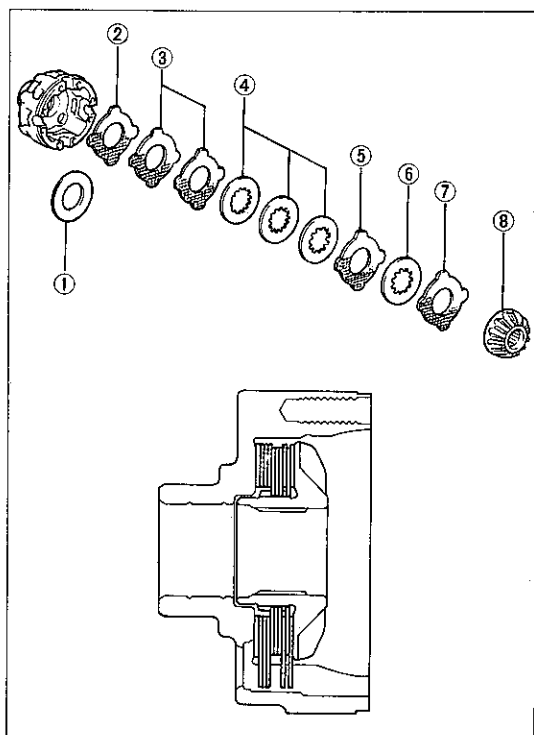
4 コンプレッションスプリング点検

- (1) スプリングの自由長を点検する。

限度 31.7mm

ディファレンシャルケース組み付け・調整

- 注意**
- ・ワッシャー・サイドギヤ、ピニオンなどの組み付け時には、ゴミ、切粉などの付着がないことを確認する。
 - ・各摺動部、回転部にキヤッスル・ハイポイドギヤオイル・LSDを十分塗布する。
 - ・組み付けの際、ディファレンシャルケース側のスラストワッシャーNo.1の識別マークがA～Mの場合は、識別マークNの新品のスラストワッシャーNo.1に交換する。

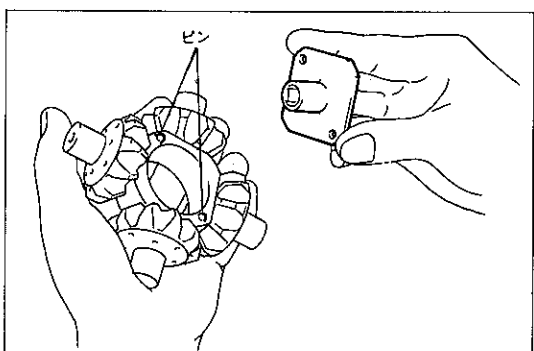


X5623 X5624

1 ディファレンシャルケースライト側組み付け

(1) ディファレンシャルケースに次の順序で部品を組み付ける。

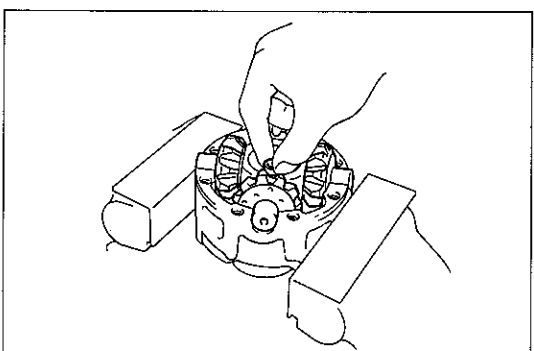
- ① 調整用シム (0～3枚)
 - ② サイドギヤスラストワッシャーNo.1 (1枚)
- 注意**
- ・溝のない面をケース側に組み付ける。
 - ・識別マークNを使用する。
- ③ サイドギヤスラストワッシャーNo.2 (2枚)
 - ④ クラッチプレート (3枚)
 - ⑤ サイドギヤスラストワッシャーNo.2 (1枚)
 - ⑥ クラッチプレート (1枚)
 - ⑦ サイドギヤスラストワッシャーNo.2 (1枚)
 - ⑧ ディファレンシャルサイドギヤ



D4665

(2) ディファレンシャルスパイダーに次の部品を組み付ける。

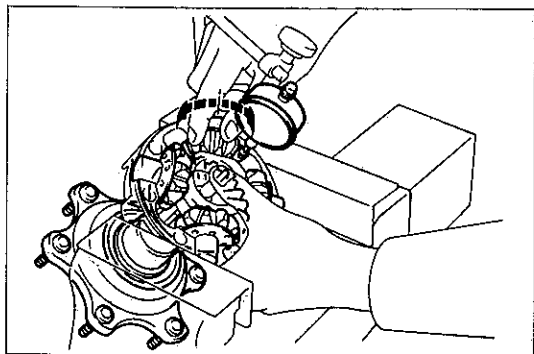
- ① ディファレンシャルピニオン (4個)
 - ② ピニオンスラストワッシャー (4枚)
 - ③ スプリングリテーナーライト
- 注意** スプリングリテーナーライトの穴とスパイダー側のピンを確実に合わせる。



D4666

(3) ディファレンシャルスパイダーおよびピニオンをディファレンシャルケースライト側に組み付ける。

- 注意** スプリングリテーナー穴とスパイダー側のピンが確実に組み付けられていることを確認する。



X 5201

2 サイドギヤバックラッシュ点検

- (1) サイドギヤシャフトのスナップリングを取りはずし、サイドギヤに挿入する。
- (2) スパイダーおよびピニオンギヤをディファレンシャルケースに押し付けた状態でダイヤルゲージをピニオンギヤの歯先先端と直角になるようにセットする。
- (3) スパイダーおよびサイドギヤを固定しピニオンギヤ側でバックラッシュを測定する。

基準値 0.05～0.20mm

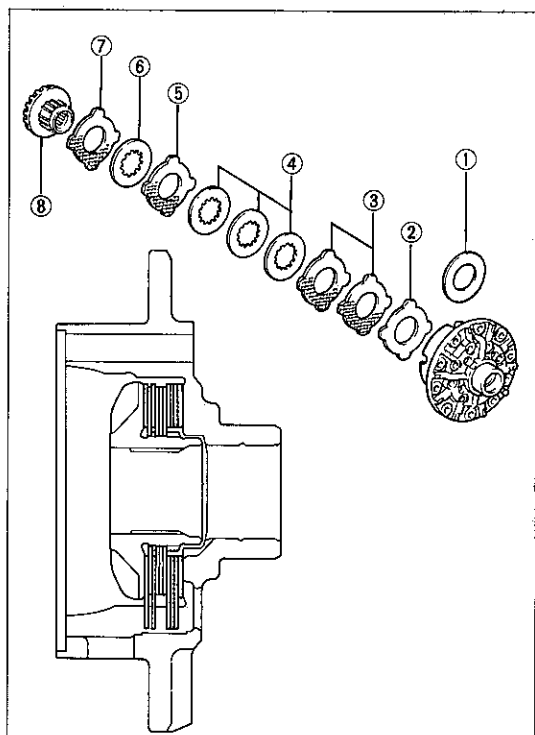
- 注意**
- ・測定はピニオンギヤをディファレンシャルケースに押し付けた状態で行う。
 - ・測定は、ピニオン4個の数箇所で行う。

- (4) 基準値外の場合は調整用シムを再選択（0～3枚の組み合わせ）し、再組み付けする。

＜参考＞ 調整用シム

品番	厚さ(mm)
90564-50001	0.13～0.17
90564-50002	0.18～0.22
90564-50003	0.23～0.27
90564-50004	0.28～0.32
90564-50005	0.33～0.37

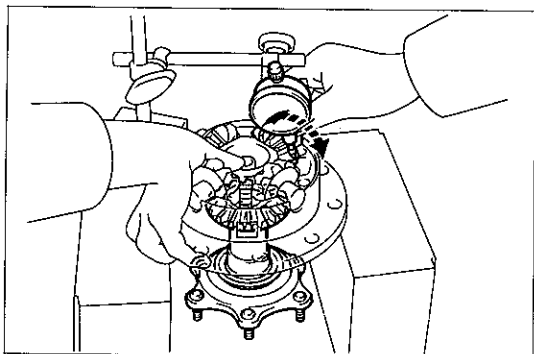
- (3) サイドギヤシャフトを取りはずす。



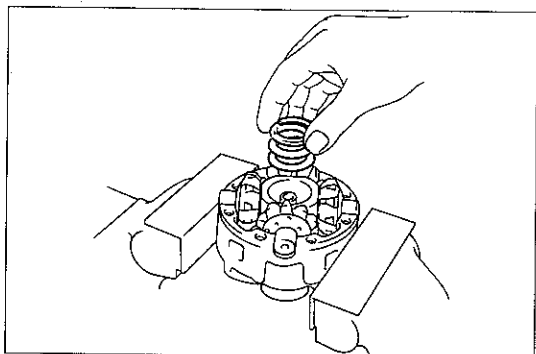
X 5625 X 5626

3 ディファレンシャルケースレフト側組み付け

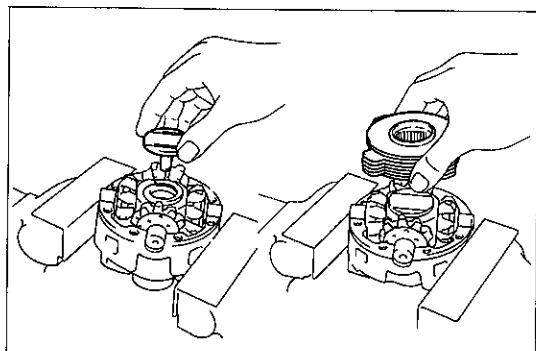
- (1) ディファレンシャルケースに次の順序で部品を組み付ける。
 - ① 調整用シム（0～3枚）
 - ② サイドギヤスラストワッシャーNo.1（1枚）
 - 注意**
 - ・溝のない面をケース側に組み付ける。
 - ・識別マークNを使用する。
 - ③ サイドギヤスラストワッシャーNo.2（2枚）
 - ④ クラッチプレート（3枚）
 - ⑤ サイドギヤスラストワッシャーNo.2（1枚）
 - ⑥ クラッチプレート（1枚）
 - ⑦ サイドギヤスラストワッシャーNo.2（1枚）
 - ⑧ ディファレンシャルサイドギヤ



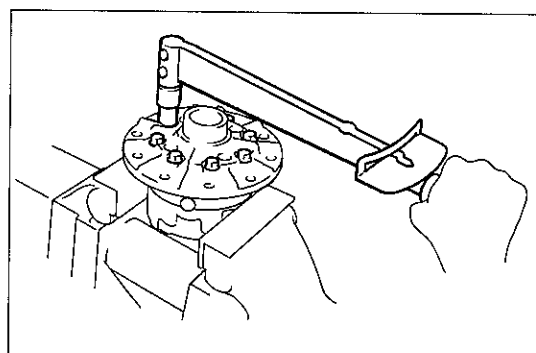
X5185



D4670



D4671 D4672



D4673

(2) ディファレンシャルケースライト側で組み付けたスパイダーピニオンおよびスプリングリテーナーレフトをディファレンシャルケースレフト側に組み付ける。

(3) サイドギヤのバックラッシュを点検する。

基準値 0.05～0.20mm

基準値外の場合は、調整用シムを再選択（0～3枚の組み合わせ）し、再組み付けする。（P総括-0007-6/7参照）

注意 ・測定はピニオンギヤをディファレンシャルケースに押し付けた状態で行う。

・測定は、ピニオン4個の数箇所で行う。

4 ディファレンシャルケースASSY組み付け

(1) ディファレンシャルケースライト側にスパイダーおよびスプリングリテーナーライトを再度組み付ける。

注意 スプリングリテーナー穴とスパイダー側のピンが確実に組み付けられていることを確認する。

(2) コンプRESSIONスプリングを組み付ける。

(3) スプリングリテーナーレフトを組み付ける。

(4) ディファレンシャルケースライト側へレフト側に組み付けたサイドギヤ、スラストワッシャーNo.1, No.2, クラッチプレートおよびシムを組み付ける。

(5) ディファレンシャルケースライト側とレフト側の合わせマークを合わせ、ディファレンシャルピニオンとサイドギヤのかみ合うように組み付ける。

(6) スパイダーとディファレンシャルケース穴がかん合していることを確認後、ボルト8本で締め付ける。

T=480kg・cm

注意 ボルトは対角線に相対する順に数回に分けて締め付ける。